



札教生第 8077 号

平成 29 年 (2017 年) 12 月 19 日

札幌市 P T A 協議会

会長 土田 修 様

札幌市教育委員会

教育長 長岡 豊彦



平成 30 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

初冬の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 29 年 10 月 26 日付けで提出がありました標記の要望書につきまして、別紙のとおり回答いたします。

札幌市PTA協議会

「平成30年度札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

：所管課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【教職員に関して】	
<p>児童生徒がきめ細かな教育・指導を受けることをより求められている現状がみられるため、クラス全体に目を配るためにも特別支援を含む教職員・加配教員の増加を希望いたします。</p>	<p>教職員及び加配定数の増加については、長期的かつ安定的に確保することが必要であるため、国が保障すべきものと考えております。</p> <p>このため、今後も様々な機会を通じて、教職員及び加配定数の増加について、国に要望してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課</p>
【スクールカウンセラーに関して】	
<p>相談を必要としている人が利用できない現状がみられるため、スクールカウンセラーの配置時間の増加を希望いたします。</p>	<p>スクールカウンセラーの配置については、早期からの相談を充実するため、小学校への配置が少なくとも週1回となるよう、段階的に配置時間の拡充に努めてまいります。</p> <p>また、各学校の状況に応じたスクールカウンセラーの有効活用について、検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（児童生徒担当）</p>
【学びのサポーター・相談支援パートナーに関して】	
<p>助けを必要としている児童生徒が確実に支援してもらえるよう各学校における派遣時間の増加を希望いたします。</p>	<p>(学びのサポーターに関して)</p> <p>学びのサポーターについては、活用時間数等も各学校の実情に応じて弾力的に運用できるよう努めてきたところです。</p> <p>また、平成27年度からは、市立高校への配置拡大と、肢体不自由のある児童生徒への身体介助を専門に行う介助アシスタントの配置を行い、1校あたりの年間活用時間数についても、段階的に拡充しております。</p> <p>校内支援体制をより一層充実させるため、学びのサポーターの活用を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p> <p>(相談支援パートナーに関して)</p> <p>相談支援パートナーについては、中学校における活用において一定の効果が認められてきており、その必要性は認識しております。今後は、早期対応の観点より小学校における相談支援パートナーの活用の検討も含め、より効果的な不登校対応に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（教育相談担当）</p>

【学校図書に関して】	
<p>低年齢からの読書習慣の定着化を図るためにも、小学校の地域開放図書館司書とは別に専任司書の配置を希望いたします。</p>	<p>児童生徒の主体的、意欲的な読書活動推進に向けて、低年齢からの読書習慣の定着化については、その重要性を認識しているところです。</p> <p>中学校における学校図書館司書配置の成果を整理するとともに、小学校においても学校図書館地域開放事業を含めて、学校図書館運営のよりよい在り方について検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（教育課程担当）</p>
【校外学習に関して】	
<p>スキー授業などの交通費等に対して金銭的負担を感じている家庭が多いことから、補助もしくはその他の対策を希望いたします。</p>	<p>保護者に費用負担をお願いすることになる校外学習の実施については、各学校において、教育課程を編成する際に、保護者負担に配慮しながら設定しているところです。</p> <p>実施に係る交通費については、各学校において、公共の交通機関を利用したり、市が補助している貸し切りバスを利用したりするなど工夫しているところですが、引き続き交通費を含めた保護者負担に充分留意した校外学習となるよう各学校に指導してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（教育課程担当）</p>
【部活動に関して】	
<p>部活動顧問の負担減のためにも、複数で担当できるように外部の人材の派遣を希望いたします。</p>	<p>運動部活動の充実に向けて、退職教職員や地域の人材等を外部人材として活用しています。部活動の維持や顧問教諭の負担軽減に有効であることから、今後も外部人材の活用を積極的に進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（児童生徒担当）</p>
【幼稚園に関して】	
<p>現行の預かり保育は短時間預けたい時に利用しづらい制度であるため、1時間単位の料金設定や月額の上限設定を希望いたします。</p>	<p>平成29年1月に実施したアンケートでは、回答した保護者の7割が預かり保育を利用していることが分かりました。利用していないと回答した保護者からは、料金や手続きについての意見が寄せられています。今後、利用する保護者がさらに増えるよう、料金体系等について慎重に検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（幼児教育センター担当）</p>

(2) 予算に関して	
【教育関連予算に関して】	
<p>教育活動が円滑に行われるためにも、関連予算の維持・増額を希望いたします。</p>	<p>本市の厳しい財政状況の中、教育委員会としても、より充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保のため、関係機関に働きかけていきます。その際には、貴協議会や教育現場等からの御意見を反映させたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">総務課</p>
【読書活動推進事業に関して】	
<p>児童生徒に豊かな読書環境を提供するため、図書購入費の増額など読書活動推進事業に係る予算の維持・増額を希望いたします。</p>	<p>子どもたちの読書活動を活発なものとするよう、今後とも必要な予算の維持、確保に努め、学校図書館の蔵書充実を図ってまいります。</p> <p>また、地域に学校図書館を開放する「学校図書館地域開放事業」をさらに進め、子どもと地域の方の読書活動の推進及び相互交流を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">学校施設課 生涯学習推進課</p>
【PTA活動に関して】	
<p>現状の基盤維持および強化のため、今年度と同様の助成を希望いたします。</p>	<p>貴協議会の運営に係る経費については、自主財源の確保や組織運営の効率化などの御協力をいただいているところであります。</p> <p>一方、貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連携による教育力向上の取組、子どもの健全育成のための諸事業は、本市の社会教育の振興に大きく寄与しており、今後とも、関係事業に対する支援を継続してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">生涯学習推進課</p>